



北斗句会

令和五年十一月定例会(一日)

五十音順 特は特選 石田きよし選

ひいふうみ家の明かりや秋の暮

大崎石州

特 クラス会これが最後か秋惜しむ

太田黒幸風

友逝きて枯葉の道を踏みならす

大森康正

秋の夜や昴となりし新司かな

川崎きこう

特 病妻の敷布新たに冬用意

竹内雲泉

立冬や息整へて一万歩

田中資凡

残照の秩父連山冬めけり

長池豆陽

特 合掌の軒に二重の柿すだれ

藤田紀潮



昂りて秋の蟬語の切羽かな

石田きよし